

吉原議員 総合型スポーツクラブは？

教育委員会 活性化へつなげていく

【吉原】21世紀のスポーツ振興の拠点として、国が積極的に進めている総合型スポーツクラブが大山町でも結成されている。



現在の活動状況と課題は。
 【教育委員会】会員数34名。ウォーキングなど4種目を定

期教室としている。会員以外の参加可能な不定期なイベントも実施している。課題は、魅力的なイベントと会員の拡大策である。
 【吉原】スポーツツリーズムの質の充実は。
 【町長】スポーツツリーズムとの直接的な関連は薄いと考える。来訪者の受け入れ体制など広がり期待している。



バドミントン・アスリート教室

【吉原】各種目の活動人数は一ヶ台で低調である。町民の体力向上・健康増進対策・スポーツ施設の有効利用などに発展させて行くべきではないか。
 特に、神田地域での町民利用の盛り上がりやスポーツツリーズムにつなげていくべきではないか。
 【町長】スポーツツリーズムによる活性化を進めていく。

吉原議員 保育園の課題は？

教育委員会 質の向上と共通理解

取り組みは大山町独自のものであり、小学校生活の土台を作るものである。
 発達障害の子どもへの対応、これからの充実をはかる取り組みは。
 【教育委員会】小学校区ごとに、子ども同士、保育士と教職員それぞれ年間交流計画を立て、相互

訪問を行っている。発達障害については担当の指導主事が対応している。
 【吉原】新しい大規模な保育園を運営するにあたって、保育士を交えて計画を練らなければならないのではないか。
 【教育委員会】就学指導委員会の中で検討していく。

【吉原】来年4月には大山・中山地区に新しい保育園が開園する。
 指導内容・保小連携への取り組みにばらつきはないか。
 【教育委員会】現在の各保育所では、年間・月ごと・毎日の指導計画を立てている。
 保育士同士の情報交換などを行い、質の向上と共通理解をはかっている。
 【吉原】保小連携の



保小連携の1つ（小学校入学体験）